

株式会社ローソンと ローソンファーム社長会の GAP普及に向けた取り組みについて

LAWSON



2016年7月27日

株式会社ローソン 執行役員 商品本部副本部長
前田 淳

株式会社ローソンファーム千葉 代表取締役社長
ローソンファーム社長会会長
篠塚 利彦

copyright (C) 2013 lawson inc. All rights reserved

1

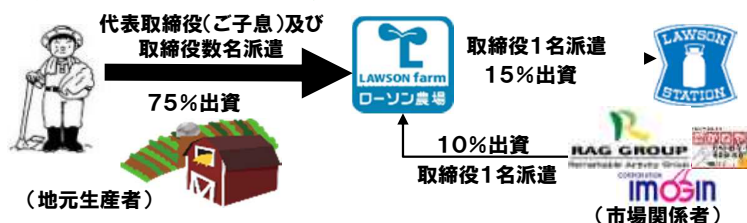
1. ローソンの農業事業への参入

2010年6月、千葉県香取市にて
農業生産法人 **株式会社ローソンファーム千葉**を設立。
ローソンは農業事業に参入をしました。



1) 農業生産法人としての農業参入

地元生産者を営農パートナーとして、ローソン・市場関係者との
共同出資にて農業生産法人を設立



2) 機能分化の構築

生産に特化

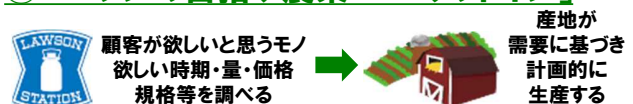


3) 需要に基づく計画生産

① 従来の農業「プロダクトアウト」



② ローソンの目指す農業「マーケットイン」



再生産コストに基づく安定した営農を目指します

copyright (C) 2013 lawson inc. All rights reserved

2

2. 第1号ファーム【ローソンファーム千葉社】

2010年6月にローソンファーム千葉社が設立されました。
ローソンの農業事業はここからスタートしております。

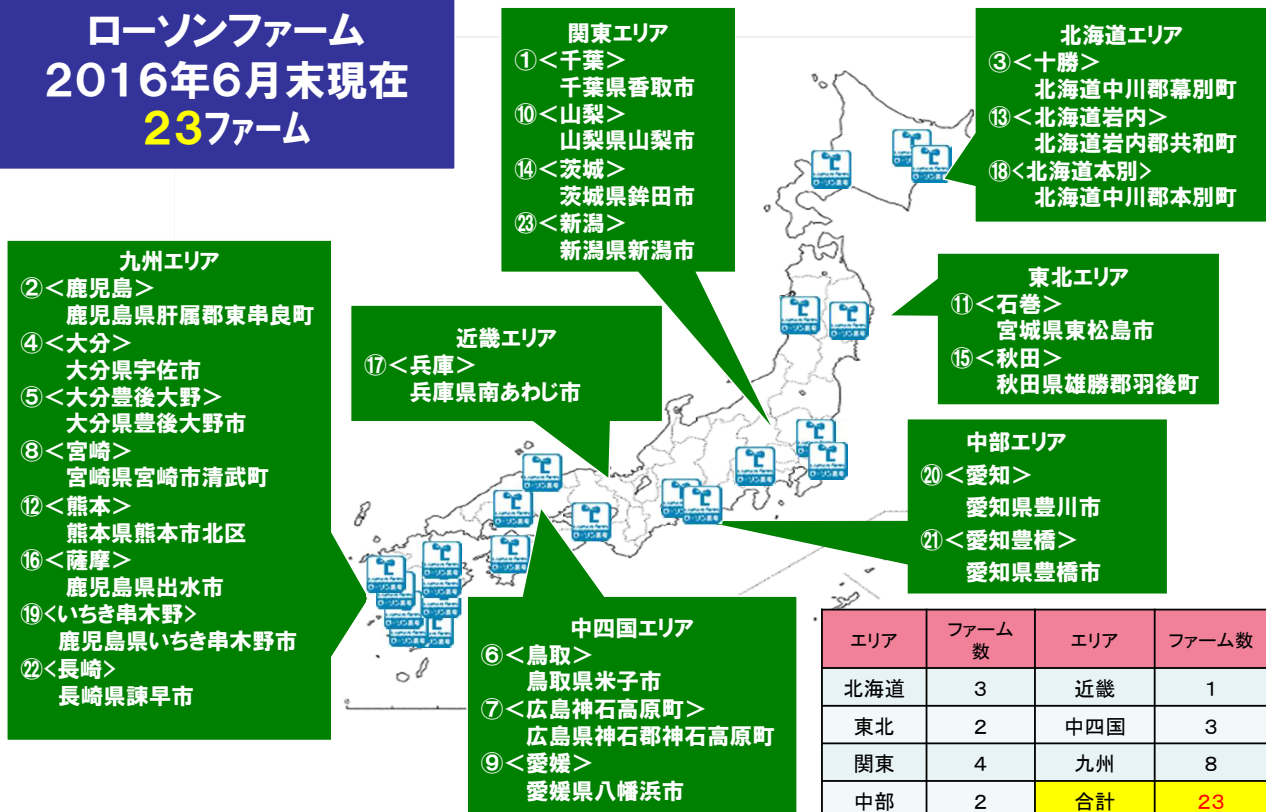


copyright (C) 2013 lawson inc. All rights reserved

3

3. 現在のローソンファーム展開

ローソンファーム
2016年6月末現在
23ファーム



copyright (C) 2013 lawson inc. All rights reserved

4

1)生産地の高齢化に対応する為、有力生産地との取組みを行い、**ローソングループの青果物の安定調達を目指す。**

2)**次世代を担う若い営農家を育成。**地域の核となる法人を目指し、地域産業を活性化させて地方創生を推進する。

3)**農業生産に自ら携わることにより農業を理解する。**計画生産・計画販売のシステム化を目指す。

ローソンファームは20代から30代の次世代の農業を担う若手営農家の育成を目的としております



1)消費者の皆様に安心・安全な生鮮品を食べて頂きたい

2)ローソングループでは自社農場(ローソンファーム)で安心・安全な青果物の生産を行っていることを消費者の皆様にアピールしたい

3)農業の産業化を行い、地域雇用を発生させ地方創生を行いたい。その為には労働環境を整え働きやすい職場にする必要が有る

これらの取組みを推進するために必要なものは？

2014年11月に開催されましたローソンファーム社長会にて、全ローソンファームに**農業生産工程管理【JGAP】**の導入を行う方向性を決議致しました。ローソングループではJGAPが最も日本の農業に適した生産工程管理と認識しております。先ずは**JGAP取組み開始宣言**を行い、ローソンと生産者が一体となり認証取得に向けた取組みを進めております。

6, 現在の認証取得状況と今後の計画

- 1)2016年7月26日時点にて14ファームにて認証取得済。2ファームは認証審査済。
- 2)2016年7月中に2ファームが認証審査を行う。2016年8月中に4ファームが認証審査を行う予定。
- 3)2016年8月中に22ファームで認証審査が終了予定。全ファームにてJGAP認証を取得予定です(*有機JAS認証を取得している広島神石高原社を除く)。

JGAP認証 進捗状況		
ファーム名	申請品目	認証状況
千葉	小松菜・大根・人参	認証済
兵庫	玉葱・白菜・レタス	
茨城	ぶなしめじ	
石巻	ミニトマト・きゅうり・ねぎ	
大分豊後大野	ねぎ	
山梨	ぶどう	
北海道本別	小麦	
愛知	キャベツ・白菜	
宮崎	きゅうり	
十勝	玉ねぎ	
北海道岩内	大根	
秋田	ベビーリーフ	
新潟	米	
長崎	リーフレタス・サニーレタス・ねぎ・たまねぎ	
熊本	みかん	認証審査済
鳥取	大根	7月審査
愛媛	みかん	
兵庫	キャベツ	8月審査
愛知豊橋	いちご	
鹿児島	大根・人参・サツマイモ	
大分	トマト・ミニトマト	
いちき串木野	レタス	

copyright (C) 2013 lawson inc. All rights reserved

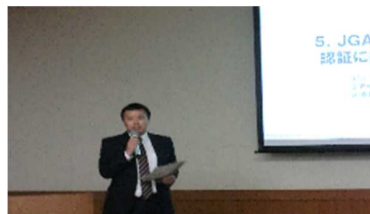
7

7, GAP普及に向けた取り組み

1)ローソンファーム社長会における意見交換と情報の共有

ローソンファームグループでは年2回(5月、11月)のローソンファーム社長会を開催しております。全国から若手生産者が集まり、生産技術や取り組みについて活発な意見交換を行い時には**国政への提言**も行っております。

JGAPの取り組みについても、認証取得に向けた事例の共有や勉強会を開催。全国の若手営農家によるGAP導入事例の意見交換を行い、**切磋琢磨しながらお互いの農場管理のレベルを高めております。**



【ローソンファーム社長会におけるGAP勉強会:アジアGAP総合研究所様にもご協力を頂きました】



【若手生産者の意見を国会議員に提言を行う:2016年5月 衆議院議員会館にて】

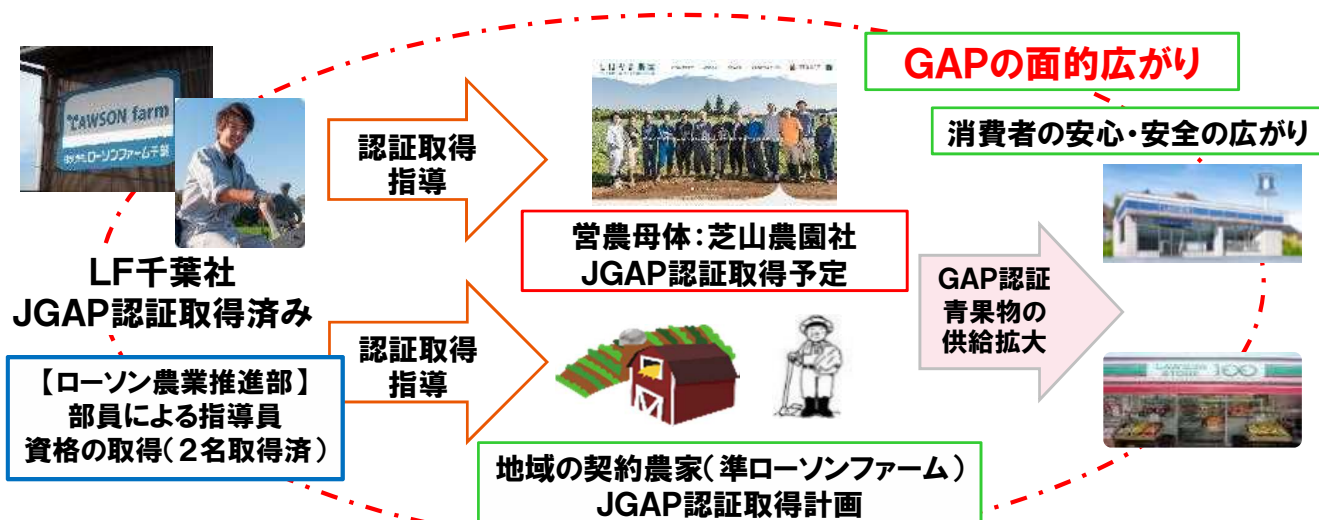
copyright (C) 2013 lawson inc. All rights reserved

8

2) ローソンファームを核としたGAPの広がり

ローソンファームでのJGAP認証取得は勿論の事、ローソンファームの営農母体や地域の契約生産者(準ローソンファーム)でもローソンファームの指導により、GAP認証の取得を推進する計画です。ローソングループで使用する生鮮原材料に更なる安心・安全を付加すると共に、**GAPの面的広がりが期待できます。**

【ローソンファーム千葉社での事例】



copyright (C) 2013 lawson inc. All rights reserved

8. 認証取得の効果

1) JGAP認証取得の効果: ローソンファーム茨城社の例

取組宣言から認証に向けて改善した農場環境

施設内の清掃強化、不要物の除去、整理整頓

改善前



なんとなくそのままに・・・

異物混入
リスク

作業性の
低下

改善後



整理整頓・清掃の徹底

作業性
の向上!

快適な
職場環境

copyright (C) 2013 lawson inc. All rights reserved

2) JGAP認証取得の効果: ローソンファーム石巻社の例

プロジェクターを利用して従業員に説明しました。

取組宣言から認証に向けて従業員教育を実施

GAPの取組み主旨と内容の勉強会を開催

改善前

社員に周知徹底する教育を行っておらず

改善後

社員教育実習を実施

JGAPの構成要素

- 環境配慮 (環境負荷の低減)
- 労働安全 (労働安全)
- 品質管理 (品質管理)
- 食の安全 (食の安全)
- 持続可能な生産管理 (持続可能な生産管理)

JGAPは何を目指していますか?

JGAPは、日本農業者の共通のテーマでもある「食の安全リスクの低減」「労働安全」「環境保全」「生態系の維持」の実践を通して「食の安全と持続可能な生産管理」を社会の求めるレベル以上に実現する為の、ハモナイズ化された共通の規格とツール開発(効率的な適合性確認含む)に取り組んでいます。これらを通じ、健康で持続的な社会実現に貢献する事を目指しています。

集荷用具類もきれいに

- パレットは、農産物・肥料につかつかみず洗浄
- 収穫用コンテナは、農産物・肥料を洗い、乾燥させる
- はさみや剪定鋏、農産物・肥料は別に洗う

農業取り扱い時における事故対応手順

農業に触れる事故

作業中に発生した事故の発生原因、発生場所、発生時刻、発生状況、発生時の対応、発生後の対応、発生後の報告、発生後の処置、発生後の評価

農業流出事故

発生原因、発生場所、発生時刻、発生状況、発生時の対応、発生後の対応、発生後の報告、発生後の処置、発生後の評価

事故については、必ず責任者に報告すること!

食品危害3要素

物理的危険、化学的危険、生物的危険

作業は、きれいな手で!

- トイレの後には必ず手洗い!
- 肥料を使ったら必ず手洗い!
- 農薬を使ったら必ず手洗い!
- 油を使ったら必ず手洗い!

生物学的危険、化学的危険は抑制できます!

9, 今後の目指すべき方向性

1) 全てはお客様へ安心・安全な青果物を提供のする為の取組み。今後もローソンファームはGAP認証の継続取得を行い、新規の開発ファームや契約産地でもJGAP認証を取得を推進する。**ローソングループはGAP認証青果物を中心に調達を行う。**

2) GAP認証の認知度向上を目指す。消費者の皆様へGAPによる農場管理を理解して頂き、GAP認証の付加価値を高める。**ローソン店舗での商品販売時に、積極的にGAP訴求を活用する。**

3) 農業という産業の持続性を高める。**農地の持続性、人材の持続性、産業の持続性**を追求する。GAPの取組みは若手営農家の経営姿勢に好影響を与え、将来の人材獲得にもプラスになる。農業の発展に好影響を与える素晴らしい取り組みであり、**GAPの面的広がり**に今後も貢献をしていきたいと考えております。

**ご清聴有難う御座いました。
今後とも御指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。**